

■番外編■

第九回『民家の甲子園』富山県大会

先月号でご案内した『民家の甲子園』富山県大会が5月22日(日)散居村ミュージアムにて開催されました。県下より8校、全10チームが出場。各々が創意工夫を凝らし、富山の魅力を伝えました。



【審査結果速報】

- 最優秀賞 高岡第一高等学校 ※全国大会出場
- 優秀賞 南砺平高等学校 (Aチーム)
- 南砺福野高等学校 (Bチーム)
- 南砺福野高等学校 (Aチーム)
- 審査員特別賞 砺波高等学校 (Bチーム)
- 古民家鑑定士賞 富山東高等学校
- チームワーク賞 富山中部高等学校
- 富山高等学校
- 富山高等学校
- 砺波高等学校 (Aチーム)
- 高岡工芸高等学校
- 最優秀個人賞 南砺福野高等学校 柴田 早理
- 「ふるさととこれからも」

【全国大会のご案内】

日時：平成23年7月31日(日)
場所：石川県こまつ芸術劇場うらら

尚、となみ散居村ミュージアムにて作品パネルが展示れます。詳細につきましては、(社)富山県古民家再生協会のHPにて随時、掲載予定です。



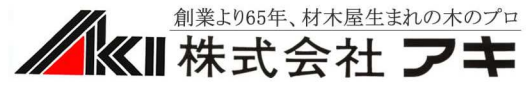
高岡第一高校のみなさん

「ふるさととこれからも」



-  こだわりの木の家
(URL) <http://www.k-aki.com>
-  ソーラーサーキット富山
(URL) <http://www.k-aki.sc>
-  古材倉庫富山
(URL) <http://www.k-aki.com>
-  富山県古民家再生協会
(URL) <http://www.kominka-toyama.org/>
-  にゃん太郎ブログ
(URL) http://blog.livedoor.jp/nyantaro_since2010/

一級建築士事務所登録 富山県知事登録 第(5)861号



創業より65年、材木屋生まれの木のプロ
〒932-0862 小矢部市五郎丸62
(TEL)0766-69-8703 (FAX)0766-69-8653



- 1.番外編 『民家の甲子園 速報』
- 2.加藤社長物語 第四話 『高専時代 part1』
- 3.特集 『梅雨に備えよう!』



アキ通信

NO.4

ジメジメとした梅雨の季節がやってきました。
気が滅入りやすいこんなときこそ、
ゆったりとした時間を楽しみませんか？
雨の中で青々と葉を伸ばすアジサイは
憂鬱な気分を晴れやかにしてくれるでしょう。

【特集】梅雨入りに備えよう！

6月といえば、梅雨。北陸の梅雨入りの平均値は6月10日頃だそうです。

梅雨に入り、部屋干しの臭いやカビに悩まされる方も多いのではないのでしょうか。

雑菌の増殖には、「雑菌」そのものと「湿度」「温度」「埃や垢、食べ物などの栄養分」が必須要素です。

雑菌にとって必要な、これらの要素を事前に取り除き、今年は梅雨の悩みを減らしましょう！

大物は入梅前に洗濯しよう

シーツやソファカバー等は乾きにくく、梅雨ときには乾く前に雑菌が増殖し、臭いの元に…。また汚れがついたままだと、カビの元にもなります。入梅前に一度きれいにしましょう！

厚手のものは入梅前に洗濯しよう

カーテンや玄関マット、フロアマットなど厚手で頻繁に洗濯しないものは雑菌が多く、カビの元になります。消臭剤で汚れは落ちないので、またすぐに臭いはじめます。同じ洗うなら入梅前に！



洗濯機の掃除をしよう

石鹸かすや溶け残り洗剤により裏側にカビが発生しているかも！今ある汚れやカビは今のうちに除去しないと、梅雨時には倍増します。

掃除方法のお勧めサイト

<http://allabout.co.jp/gm/gc/45757/>

クローゼットの掃除をしよう

床に埃が溜まりがちで、閉め切ると湿気がこもりがち。クローゼットやタンスの底や隅も掃除機で吸ったり、乾拭きしたり、除湿器を置いたりしておきましょう。

靴箱や衣類小物入れの掃除をしよう

汚れが溜まりやすく、湿気もこもりやすい「カビ・臭い危険ゾーン」。入梅前に掃除をし、棚板に新聞紙を敷いたり、重曹を入れた瓶などの除湿剤を置くといった対策を！

防水・防汚をしておこう

レイングッズや靴等に防水スプレーで水や汚れを防止しておくのもお勧め。布用防水スプレーであれば、エプロンやテーブルクロス等の洗濯回数を減らすこともできます。

梅雨グッズへの投資をを考えてみよう

消臭剤やカビ取り剤をたくさん買って手間ひまやコストをかけるより、タオルや下着を速乾性のものに換えたり除湿器や防水スプレー等への投資を考えてみましょう！

今年は家族みんなで力を合わせ梅雨に備えましょう！
事前に対策対策！



加藤社長物語

第四話

『高専時代 part1』



中学を卒業した私は、5年制である高専に進学しました。年齢もバラバラ、出身もバラバラで方言も様々…。金沢の町の子もいれば私のような山の子もいる。ビックリする事ばかりの高専生活が始まりました。

その中でも一番ビックリしたのは、先生方とその教え方です。その先生方に教えられた“物事の見方、考え方”が今の自分の思考方法の基になっていると思います。

例えば、数学の鹿渡先生…口癖は、『定義は決り事、これだけは覚えること。定理は必ず導かれるもの。どうしてこうなるかを考えよ！』『覚えて答えるのは、頭が良いのではない。単に記憶力が良いだけ。頭の良い人間は、なぜ？どうして？を考え、答えを導き出す人だ。』化学の金原先生も同じ教え方でした。

『なぜ？どうしてこうなる？』…結果をすぐ求めず、途中で一生懸命悩む事が後々にその人間を成長させると確信しています。大学へ行くための受験勉強なら、こういう学び方はできなかったでしょう。すばらしい先生方に会えて、勉強する事の楽しさを教えていただきました。今も高専で学べたことを心からラッキーだと思っています。しかし…私のクラスは比較的真面目な生徒ばかりでした。それでも長い学生生活を通しその内、本来の道を見失う者も出てきました。

次回へつづく！

※第一話より読みたい方には欄アキまで